



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えなさい。

2022年12月14日朝刊



静岡茶市場で開かれた求評会で茶葉を見る関係者たち。二入の高まりに応じて初開された。11月下旬、静岡市葵区

## 令和の静岡茶

・ 25

### 第7章 再生への希望

#### ① 和紅茶への期待感

経産連の真田泰伸茶葉部長は「継続的に開催し、和紅茶に関心を持つカフェや菓子店にも参加してもらうことで、盛り上げていきたい」と話す。和紅茶とも称される和紅茶の歴史は古い。世界的な紅茶需要に合わせ、明初期に英米などの輸出が活発化した。戦後、インドやスリランカの紅茶が世界を席巻する一方、価格や品質で劣る和紅茶の輸出は減少。国内でも1971年の紅茶輸入自由化で外

## 商品続々 個性発揮が鍵

国産ティーバッグや缶入り飲料が急速に普及し、存在感は薄れた。時を経ち、日本初の紅茶・半発酵茶用品種「へにふうき」が登録され、生産農家が徐々に増えるに至る。近年の無糖茶市場拡大や嗜好（じょうご）の多様化を背景に、香りに特徴を持つ品の人気は高い。静岡市葵区の足久保ティールワークス茶葉協同組合は今年10月、小売店舗はじまりの紅茶を発売し、小田原市に開設した粉末和紅茶を

練り込んだ茶を「コロレート」、茶葉にイチゴなどを配合したフレーバーティーといった商品を出して顧客開拓に挑む。アサヒ飲料が「最高位茶師監修」と銘打ったペットボトルの和紅茶を発売するなど、大手も商売に動く。「和紅茶ブーム」の今後をどうみるか、無糖茶市場に約40年携わり、国内外のコンテストで評価されてきた益井悦郎さん(66)川根本町は「売り手が個性を発揮しないと、息の長い取引につながらない」と指摘する。

県内で農産物の視点を生かした商売や情報通信技術(ICT)を用いた生産基盤改良が進む。事業者は改革を通じ、茶葉再生への希望をつなぐ。

①国産紅茶とも称される和紅茶は、明治期に英米などへの輸出が活発化したが、戦後には輸出が減少し、存在感が薄れた。その理由を次の語句を必ず使って、説明しなさい。

< インド、紅茶輸入自由化 >

②和紅茶の生産農家が徐々に増えるきっかけになった出来事とは、何か。記事を参考にしながら説明しなさい。

③現在の「和紅茶ブーム」を一時的なものに終わらせないためには、あなたはどのようなことが必要だと考えるか。記事を参考にしながら説明しなさい。

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 伊藤大介(静岡聖光学院中学・高校 教諭)

(中学校～高校/社会、総合)



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えなさい。

## 解答例

2022年12月14日朝刊



静岡茶市場で開かれた求評会で茶葉を見る関係者たち。二入の高まりに応じて初開された。11月下旬、静岡市葵区

### 令和の静岡茶

・ 25

#### 第7章 再生への希望

##### ① 和紅茶への期待感

経産部の真田泰伸茶葉部長は「継続的に開催し、和紅茶に関心を持つカフェや菓子店にも参加してもらうことで、盛り上げていきたい」と話す。国産紅茶とも称される和紅茶の歴史は古い。世界的な紅茶需要に合わせ、明前期に英米などの輸出が活発化した。戦後、インドやスリランカの紅茶が世界を席巻する一方、価格や品質で劣る和紅茶の輸出は減少。国内でも1971年の紅茶輸入自由化で外

国産ティーバッグや缶入り飲料が急速に普及し、存在感は薄れた。時を経ち、日本初の紅茶・半発酵茶用品種「べにふうき」が登録され、生産農家が徐々に増えるに至る。近年の無糖茶市場拡大や嗜好（じょうご）の多様化を背景に、香りに特徴を持つ品の人気は高い。静岡市葵区の足久保（あしひら）ティーワークス茶業協同組合は今年10月、小売店舗は「じまりの紅茶」を神戸市小島田原市に開設。粉末和紅茶を

練り込んだ「チョコレート」や、茶葉にイチゴなどを配合した「フレーバーティー」といった商品を出して顧客開拓に挑む。アサヒ飲料が「最高位茶師監修」と銘打った「ベトボトル」の和紅茶を発売するなど、大手も商売に動く。「和紅茶ブーム」の今後をどうみるか、無農薬紅茶生産に約40年携わり、国内外のコンテストで評価されてきた益井悦郎さん（66）川根本町は「売り手が個性を発揮しないと、息の長い取引につな

つていかないと指摘する。紅茶に特化した畑作りや、栽培体系確立などが鍵になるという。「外国は200年の栽培経験があり、競争は容易ではない。継続的に買ってもらって紅茶産に向けた研究が不可欠」と説く。◇ 県内で農産物の視点を生かした商開発や情報通信技術（ICT）を用いた生産基盤改良が進む。事業者は改革を通じ、茶葉再生への希望をつなぐ。

### 商品続々個性発揮が鍵

① 国産紅茶とも称される和紅茶は、明治期に英米などへの輸出が活発化した。戦後には輸出が減少し、存在感が薄れた。その理由を次の語句を必ず使って、説明しなさい。

< インド、紅茶輸入自由化 >

(例) 戦後にインドやスリランカの紅茶が世界を席巻したり、国内で1971年の紅茶輸入自由化によって外国産のティーバッグや缶入り飲料が急速に普及したため。

② 和紅茶の生産農家が徐々に増えるきっかけになった出来事とは、何か。記事を参考にしながら説明しなさい。

(例) 1995年に日本初の紅茶・半発酵茶用品種である「べにふうき」が登録されたこと。

③ 現在の「和紅茶ブーム」を一時的なものに終わらせないためには、あなたはどのようなことが必要だと考えるか。記事を参考にしながら説明しなさい。

(例) 売り手側が、若年層に人気のあるスイーツに和紅茶を積極的に使用したりなど、常に顧客目線の商品開発の努力を続けていくようにすること。

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 伊藤大介 (静岡聖光学院中学・高校 教諭)

(中学校～高校 / 社会、総合)